

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年4月29日掲載

1年1組 松下 結奈

熊本地震から4年を迎えた4月14日に県庁で県犠牲者追悼式が行われました。その際、「追悼の言葉」を述べられた内村勝紀さんの新聞記事を読んで、私は「何も起きない穏やかな毎日が、いかに幸せか」ということを考えました。

熊本地震が起きた時、大きな揺れとその後の厳しい状況を私自身は体験したわけではありません。でも、その時の映像を見て、私なりに地震の脅威を感じていました。熊本地震で大きな被害を受けた地域の方々は恐怖におびえ、地震後も不安で苦しい思いをされたと思います。

内村さんのように、熊本地震で家族や友人、身内の人などを亡くされた方がたくさんいらっしゃいます。それでも、悲しみや苦しみの中で立ち止まらずに、お互いに励まし合いながら前へ前へと進んでいらっしゃる人たちの力強さがとても心に残りました。

今、世界中で問題になっている新型コロナウイルスは、中国だけでなく、アメリカやイギリス、そして日本にも広まっています。熊本県でも感染者が確認され、ニュースは新型コロナウイルスのことばかりです。こんな時だからこそ私は、新型コロナウイルスに負けることなくみんなで励まし合って、一日でも早く明るい生活を取り戻したいと思います。そのために不要不急の外出を控えることや手洗いうがいなど家族で声を掛け合いながら、まずは自分ができることから行っていきたいです。